

〔古今要覽稿器財〕あげはり帷幕 幄

幕に大中小ありて、五步六步七步といふよし愚得隨筆、武法軍器辨見え、また小幕曰康熙帟字典といふことあれば、西土にても大小の別ちあることあるし、

〔今川大雙紙上〕陣具に付て式法之事

大幕といふは、乳のかす八十一つく也、今は半幕也、小幕とは内幕也、

〔太平記二〕俊基被誅事并助光事

俊基已ニ張輿ニ乗ラレテ粧坂へ出給、爰ニテ工藤二郎左衛門尉請取テ、葛原岡ニ大幕引テ、敷皮ノ上ニ坐シ給ヘリ、

〔日本書紀二十六〕二年、是歲於飛鳥岡本、更定宮地、時高麗百濟新羅並遣使進調、爲張フカキハナダノテゲハリ紺幕於此宮地而饗焉、

〔釋日本紀二十〕紺幕フカキハナダノテゲハリ

〔令義解五防〕凡兵士每火紺布幕一口、著裏略、皆令自備、並調紺布幕以下、皆皆私備也、

〔令義解六營繕〕凡在京營造、略、支料之外、更有別須、應科折謂假令臨時造機、應須用東繩、即年常者、支料之外、更科絶折布之類、故曰科折也、

亦申太政官、

〔三代實錄四十三〕元慶七年二月廿一日戊午、先是駿河國司言、戎具絶幕八條、調布幕二十九條、商布

幕五條、機急之備、縫作年久、延曆年中以後、國申請大破、不用、除弃、改作、至是許之、

〔延喜式五齋宮〕造備雜物

紺絶幕一具

〔延喜式十六〕三元祭

神座九前、略、中幕二條、一條椽、東絶、一條紺、調布、並隨破壞請換、